

先週の雨続きの1週間から一転し、今週は天気恵まれた1週間となりました。延期となっていた定光寺へのフィールドワークも無事行うことができ、またスナックタイムや昼休みには元気に外に出て遊ぶ姿が見られました。こういった校外での学びや休憩時間のリフレッシュが充実すると、教室での学びでも集中力が増し、創造効果が生まれるように感じます。そして第1クォーターもあっという間に残り3週間となりました。日中の寒暖差や暑さから疲れの出る日もあると思いますので、体調管理を十分をお願いいたします。

## フィールドワーク～定光寺公園～

26日(水)にプロジェクトのフィールドワークとして定光寺公園に行きました。出発前に、めあてや学習で目指す目標となるS/A評価、そして3つに分かれた各グループで目的や注意事項の確認を行い、下記の意識を持って臨みました。

めあて：グループに分かれてフィールドワークをしよう	
◎：くわしく（なにが、どこに、どうやって）	
Ⓐ：グループのやくわりについて見つける・しらべる	
<u>植物グループ</u> ・3~6つ以上の花のぎもんを見つける ・高い木や花を見つける ・バラバラにならない	<u>環境グループ</u> ・水がきれいか ・生き物がすんでいるか ・水のきれいさをくらべる ・木がしげっているか
<u>虫・動物</u> ・虫を見つけて写真をとる ・草→池→森のじゅんばんで回る	

定光寺公園到着後は、各グループに分かれ、休憩を挟みながら1時間半近く活動を行いました。とても自然豊かな環境であることや、虫や植物の飼育・観察を教室で行っているため、虫の採取等に興味がいつてしまい、自分たちのグループの役割に徹することが難しい場面もありました。しかし、長時間の観察活動としては集中を切らすことなく、安全に気をつけながら協力して実施し、成果を持ち帰ることができたのは大きな経験になると考えています。

28日(金)のプロジェクトの時間には、それぞれのグループでクラゲチャートを使い、フィールドワークのふりかえりと、その発表を行いました。ただ発表するだけでなく、「グループの役割が果たせたか」「グループとしてまとまりのあるふりかえりができているか」の視点から、自己評価と聞き手による他者評価を行いました。それぞれの評価では、「フィールドワークで得た結論の明確さ」と「内容や理由の詳しさ」を視点とする子が多く、S評価をつける子もいれば、厳しくB評価をつける子もいました。

今回は5/31(月)に3回目のフィールドワークとなる瀬戸川に行くことがあるため、実施したフィールドワークをしっかりとふりかえり、課題があればそれを明確にして次に活かす必要がありました。そうでなければ、また同じ課題に直面し、フィールドワークでの情報収集の内容が薄いままになってしまいます。私たち教員から指摘することはもちろんあるものの、自ら振り返ることや、子どもたち同士が指摘し合い、実感を伴う形にすることで、本当に次につながるふりかえりとなると考えています。今後もこういった協働的な学習を繰り返しながら学びを進めて参ります。

## 植物や虫の観察

現在 3 つのグループに分かれて虫の飼育を、そして児童それぞれが植物の観察をしています。虫の飼育では、アゲハ蝶の幼虫が蛹になったグループがあったため、メディアクリエーターの増田さんに定点カメラを設置してもらい、子どもたちがいない間も記録を残せるようにしました。また植物の観察では、My Time や休み時間に植物や土の状態を見ながら観察し、Keynote に記録を残しています。よろしければ是非子どもたちお声がけいただき、観察記録の Keynote をご覧になってください。

## 副担任 鈴木先生より

こんにちは！副担任の鈴木慶樹（けいじゅ）です。瀬戸 SOLAN 小学校 3 年 1 組 Earth 組が始まって、もう 2 ヶ月がたちました。子どもたちも、学校生活に慣れてきた様子で、様々なことに挑戦をしています。私が受け持っている体育では、マット運動を行いました。マット運動では、基本的な前転や後転、そして発展技の開脚前転と開脚後転に取り組みました。授業中ではお魚ボン図を活用し、思考を深めました。「これはなんの考える技かな？」と聞くと、すっと答えてくれるのがやはり 3 年生で、さすがだなと思う毎日です。図工では、グループ課題で「お話くるくるランドをつくろう」と立体工作に取り組んでいます。4 人のグループで回転式の立体工作に取り組むのですが、話の構成を始め、各場面の配色、立体的に見せる工夫などを決めていくのに協働する力が重要になります。現在プロジェクトで取り組んでいるグループ活動に加えて、このようにみんなで協力をしていける学習場面を、これからも子どもたちに馴染む形で作れたらいいなと思います。そして！まったく私の受け持つ授業とは関係ないのですが、育てているアゲハ蝶のサナギがもうそろそろ羽化しそうです。私も小学 3 年生の頃、アゲハ蝶が大好きで、毎週ホームセンターまで自転車を走らせて、植物コーナーに植えられたオレンジの木にいる幼虫を観に行きました。アゲハチョウが飛び立ったその日に、子どもたちと感動を共有できたらなあなんて思います。